



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

国際ロータリー 第2500地区 第3分区

Asahikawa Morning Rotary Club

2021～22年度 第1308回 例会報告

例会日：2022年2月3日（木）時間：7:30～8:30

2500地区ガバナー

ロータリーの素晴らしさを伝えましょう

漆崎 隆（釧路ベイ RC）

RI会長：
シェカール・メータ（インド）

例会場： ZOOM 例会

クラブ活動方針 『困難な今だからこそ』 クラブ会長：井上雄樹・幹事 飯塚 達夫

会長挨拶 井上雄樹 2022・2・3

みなさん、おはようございます。

本日は、久しぶりのズーム例会になります。9月はズーム例会でしたが、10月から4ヶ月リアル例会を開催してきて、たった4ヶ月でまたズーム例会にせざるを得ない状況になってしまい残念です。とはいえ、市内の他のクラブはほとんど休会になっているようですので、モーニングだけは、ズームであっても休会にせずに行きたいと思っております。今後のことについては、本日の理事会で決めたいと思います。

さて、本日は節分ですが、関東出身の私が北海道に来て驚いたことのひとつが節分でまく豆が北海道では落花生だということです。内地では、大豆をまくことが普通なのですが、なぜ北海道が落花生なのかは諸説あるようです。雪が降っているのだから、まいたあとに拾いやすいとか、殻がついているので、衛生的だとか、そういった理由があるそうです。何を言いたいかというと、北海道では内地と違う風習があってもそれには合理的な理由があってそうなっていることが多いということです。豆まきの他にも結婚式の会費制なども合理的だなと思います。北海道は、アイヌの文化や歴史はありますが、内地から移り住んできた人たちが作った文化については、移住をし



ようというチャレンジ精神を持っていたり、合理的思考を身につけた移住者が作ったものだと思います。北海道民は、そういう移住者の遺伝子を受け継ぐ人たちですので、新しいものを作っていくことができる土壤があるのだと思います。

モーニングロータリーも30周年を迎えることとなり、私が周年事業の実行委員長を仰せつかりましたが、次の10年20年につながるような新しい事業をできたらと思っております。皆さんも良いアイデアがあれば、どんどん出して下さい。

会務報告

本日はございません。

会員スピーチ

谷地元 憲次 会員

この度、会員スピーチということで、機会を頂きましたので、お聞き苦しいとは思いますが、つたない話をお許してください。

先ず、自己紹介を・・・私は谷地元憲次と申します、昭和31年（1956年）7月4日に上川郡東川町西10号北23番地で、兄弟5人の4番目（次男）として生まれました。生家は貧乏農業を営んでおりまして、今思えば「は〜」でした。4歳年の離れた長男がおりましたが、旭川工業高校の電気科を卒業後、農業後継を拒み東京へ行くことになったのです。目を付けられた私ですが、貧乏農家が嫌やで嫌やで、早く手に職を持ち稼げる道を選び、工業高校土木科へまっしぐら。さぞかし、父は嘆いたことでしょう。でも、何も言いませんでした。

多分、長男に大きい期待を託したけれど、成らなかったことがショックだった。そもそも、次男の私に期待は持っていなかったのだと理解しました。

昭和50年4月、高畠建設工業(株)に入社。昔から、3日ぼうずと言いますが3日、3ヶ月、3ヶ年が挫折の節目、私も同様に陥ったことがありましたが21歳で東京支店に配属となり、転勤時、母から「東京は生き馬の目も割り抜く、とても怖ろしい都会だ！覚悟して行け」と言われたことを思い出します。

ところがパラダイスだったんです。東京支店は板橋区本町に在りまして、羽田空港を降り、山手線経由、都営地下鉄板橋本町で地上に出た時、目の辺りにしたのは、国道17号線（中山道）、その交差点に環状7号線（通称環7）跨道橋、また更に見上げると、首都高速道路5号線、思わず「ワ〜オー」と声を上げてしまいました。正に手塚治虫の鉄腕アトムの世界そのものでした。

後で思うと、すっかり「お登りさん」だったのです。不安を抱えながらも田舎者丸出しで仕事に励みましたが、母のいう「怖ろしい都会」とは感じず、仕舞いには、チャラチャラした兄さん方やきれいな都会風のお姉さん方に目移りし、テレビに出る新宿歌舞伎町、新宿2丁目、池袋、サンシャインビル、

東京タワー、巣鴨、六本木などなど、いろんな所に行きました。その分、貰う給料は「あっ」という間に消えてしまいましたけれど、なんと素晴らしい世界、美しい都でしょう。と、9年間経験させて貰いました。

東京支店在籍中に、今の家内と24歳で結婚し、娘ふたりと長男を授かりましたしかし、息子のぜん息が重症で北海道へ戻ることにしたのです。その当時、環7沿いの社宅付きの支店だったのですが、昼夜間渋滞する車の排気ガスや会社に隣接するスクラップ工場や電線再生工場など、とても酷い環境だったのです。

いわゆる「都会のスモッグ」でした。色々体験し、その度に乗り越えて今日に至りました。今、この立場に居るのは苦節を経験し、寡黙に努めて来たことであったと思います。勿論、諸先輩や、同僚また、回りの皆さんが支えてくれたことが一番であります。

次に、当旭川モーニングロータリークラブに入会させて頂いた経緯を・・・令和元年4月に私がタカハタ建設(株)の社長に就任いたしまして間もなく、柴滝建築設計事務所(株)の石川社長(先輩会員)が来社し、是非、旭川モーニングロータリークラブに入会しなさいとお誘いを受けました。ロータリークラブやライオンズクラブ、名前は聞いたことがありますし、社会奉仕活動などをメインにしている格式高い団体と認識しており、私には全く無縁な近づきがたい方々だとも・・・しかも、旭川モーニング・・・と。仕事柄、日中は忙しく時間を作るのは、難しいでしょうから、朝なら少し早い時間なら都合がつくので、皆さんが集うことが出来るだろうとの趣旨でした。全く正解だと思いましたが。いづれにしても、私が入会するほどの人格ではないし、敷居が高すぎて・・・と尻込みしたのですが、石川会員が一度、ゲストとして招待するので参加してみて!と参加当日には、武田会員など皆さんに声を掛けられ、緊張しましたが、皆さんとても朗らかで良くしてくださって緊張も解れたことを覚えております。

令和元年10月に旭川モーニングロータリークラブ正式会員として入会させて頂きました。ただ、モーニングというだけあって、朝の7時半にアートホテルに集い開会、入会当初は親睦委員会に所属し、開会前の受付を一緒に担当しました。当時、小林会員に、「最低遅くとも開会の30分前には来場していないとだめ！」

とアドバイスがあり、私は現場現役を離れた生活にとって、朝ワンちゃんの散歩を済ませてのリズムに多少の影響がありました。でも今は、普通の生活リズムです。

さて、私の長々のプロセスはこれぐらいにしまして、先ほど申しましたように、「ロータリークラブ」について、知識がほぼありませんでしたので、皆さんにとりましては、何を今更と思われるでしょうが、ここへ来て私なりの浅い低レベルの知識をお披露目したいと思います。

ロータリークラブは、1905年アメリカシカゴでポール、ハリスという方によって設立された職業倫理の高揚を学び、一人一人の職業を通じて社会に如何に奉仕するかという職業奉仕を重点に「私は奉仕する」を理念とした団体が始まりと窺いました。また、ロータリーの名の由来は創設当初、ローテーション（回り番）で各会員の職場を例会場としていたことからだということです。

更に毎回例会で唱和しております「四つのテスト」は、1932年シカゴロータリークラブ会員の国際ロータリー会長を務めたハーバート、J、テイラー氏により発案され。倒産寸前の会社を建て直す役目を担ったテイラーは、仕事における全側面において従うべき倫理的方針として、「四つのテスト」を創り、このシンプルな哲学のおかげで、この会社の倒産を免れました。

その後、1934年に国際ロータリーで採用されて以来、ロータリアンが、倫理的行動を判断するための尺度として用入れられてきたとされています。

また、ロータリアンの行動規範として、

1. 個人として、また、事業において高潔さと高い倫理基準をもってこうどうする。
2. 取引の全てにおいて公正に勤め、相手とその職業に対して尊重の念をもって行動する。
3. 自分の職業スキルを生かして、若い人々を導き、特別なニーズを抱える人々を助け、地域社会や世界中の人々の生活の質を高める。
4. ロータリーやほかのロータリアンの評判を落とすような言動は避ける。

となっており、職業奉仕では地域社会のニーズに取り組み、支援を必要とする人達が、自らの力で生活を立てていけるよう支援するために、職業の知識とスキルを活用することが求められます となっています。素晴らしい・・・

毎期の旭川モーニングロータリークラブの活動計画書表紙裏ページに記され、最後のページには毎回集う時、皆で唄う何種かのクラブソングも記載しています。

今期、私は奉仕プロジェクト委員会の職業奉仕委員会委員長を仰せつかり、新型コロナウイルス禍での安全・安心なタイミングのもと、大先輩の武田会員と皆さんのアドバイスと援助により、令和3年10月7日に旭川市1条通り3丁目に在します(株)近藤染工場の近藤専務様の協力を得まして、職場訪問による移動例会を実施することが出来ました。創業120年余りを誇り、先祖代々受け継がれた職人技を拝見させて頂き、貴重な「刷毛引き本初め」の技と心を学び、日本文化の守護尽力感銘しました。遠く徳島から居を移して旭川に根ざし、日本伝統文化を継承する近藤染工場様の生業を更に更に応援すべきだと感じました。感謝致します。

世の中には色々な職業があり、それぞれの生業において、確固たる基本理念を持ち、「育んできた、こだわりや誇り」により、力強く進んで行くべきなのでしょう。旭川モーニングロータリークラブでは、ほかにロータリー財団・米山記念奨学会、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕などの活動が皆さんにより活動されています。正に「四つのテスト」を踏襲していると感じます。

今、世界や国内の人々は、新型コロナウイルス禍において数年間、脅威と恐怖を感じ、更に地球温暖化による気候変動や資源の激減で、苦難の生活を強いられています。今更のようにSDGs（サステイナブル、開発目標、ゴールズ）やカーボンニュートラルなどと世界中が声を上げていますが、既に遅しの感がありますが、必然の行動ですね。早く、平常な生活を取り戻し、公平で貧困や差別のない暮らしを目指しましょう。私はこの旭川モーニングロータリークラブに入会し2年と4ヶ月、皆さんと共に、親睦を深め、同じ理念と理想の実現を目指す一員として微力ながら活動できたことを誇りに思い感謝します。少し成長したかな？と思っています。

これからも出来る限りの役割を果たしたいと思いますので、どうぞ宜しくお願い致します。

最後に、グタグタなスピーチとなりましたが、この機会を与えて頂きましたことを感謝いたします。 **ご静聴ありがとうございました。**



会員スピーチをする谷地元会員↑



← 会員スピーチを聞く
MRC の面々。

四つのテストを唱和する竹
村陽一会員→



* 旭川モーニングRC 出席報告 *

* 本日の出席 第 1308 回 例会 総員 22 名
2 月 3 日分 出席 20 名 出席率 90.91%

* 修正出席 第 1305 回 例会 総員 21 名
1 月 6 日分 出席 19 名 出席率 90.48%

* ビジター ございません

* ゲスト ございません

* メークアップ 1/23 石川千賀男・河崎高麗男 (地区 RLI)

1/20 分 ニコニコ

0 円 (ZOOM 例会のため)



↑ 司会進行をする小柳 SAA



↑ 出席報告をする河崎会員



↑ いつも笑顔が素敵な飯塚幹事



↑ 本日も元気な桑原会員

ニコニコ BOX

ZOOM 例会のためございません。